

学校教育目標 **はげまし きたえ 学びあう 児童の育成**

校長 吉田 元

桶川小学校の児童・保護者の皆様、ご入学ご進級おめでとうございます。本年度98名の1年生を迎え、児童数601名でスタートします。引き続き校長を務めます吉田 元（はじめ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度同様、最初に私の学校経営の基本的な考え方をお示しいたします。小学校は、子供たちにとって初めて出会う大きな社会であり、集団生活の中から多くのことを学んでもらいたいと思っています。特に次の3点は大切です。

○変化し続ける社会の中で学習は一生続く。小学校はその基本を身につける場所である。

各教科の内容や身の回りにある様々な事象に興味や関心をもち、なぜだろう、どうしてだろうと考え友達と話し合ったり協力したりして、答えを見つけ出していく。

○個性を大切にし、良いところを伸ばす。

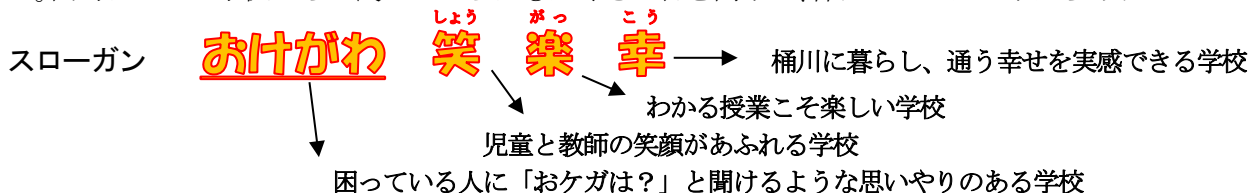
一人一人が大切な存在であることに気かせ、安全が守られ、公正に、思いやりをもって生活できる場所にする。

○学校の成果は、子供たちの変容である。

漫然と学ぶ（教える）のではなく、何がわかったのか、何ができるようになったのかを、子供も教師も確認しながら進む。

学校は集団生活の場ですから、思い通りにならず我慢すること多いと思いますが、それこそが**社会生活を知る第一歩**になります。

どうか、保護者の皆様もお子様の良いところをたくさん見つけ、**その場で具体的にほめてあげてください**。同時にほかの子供たちの良いところにもたくさん目を向けて、伸ばしていただけたらありがたいです。



よく聞くとよ → よくきくとよ ← **話をよく聞いてあげると、子供は安心と話す楽しさを知る**

「聞くこと」は「話すこと」以上に基本的なことで、人間関係をつくるうえで大切です。お子さんの話を聞くときには、特に次のようなことを意識してみてください。

○話を最後まで聞く ○相槌を打つ ○肯定的（共感的）に聞く ○自分の考えを押し付けない

○何が言いたいかを考えながら聞く（聞き流さない） 自分が話している途中で遮られたり、よそ見をしながら聞かれたりすると、話すのがイヤになりますね。また、「○○にしないで」と一方的に言われると、話した甲斐がなくなり、指示待ちで自分で考えない子供になります。逆に、学校での出来事や今の気持ちを言葉にした時に保護者から認めってもらえると、安心が広がり、もっと話したくなります。保護者がこれを意識すると子供もできるようになります。学校では友達と話す機会は多いのですが、授業中に一人で発表する時間は少ないので、ご家庭でたくさん話させてあげてください。そして、時々、「もう少し大きい声で話してくれると、聞きやすいな。」と言ってあげると、教室で発表する際に大きな声が出せるようになります。

連絡 欠席・遅刻等の連絡は、ご登録いただいているeメッセージを使い、備考欄に理由を記入してください。また、体育・体力タイムを見学する場合は、新たに配る「運動見学カード」(黄色)に理由を書き、保護者印を押して学級担任に提出してください。